



令和7年9月30日

奈良県田原本町

## 唐古・鍵考古学ミュージアム企画展の開催について

当ミュージアムでは、「田原本で米作りがはじまった時代」と題して、別紙のとおり企画展を開催します。

弥生時代は、日本列島においてそれまでの狩猟・採集を基本とした生活から稲作農耕の生活を本格的に開始した時代とされます。唐古・鍵遺跡は、奈良県で稲作が始まり、定着していく過程もみることができる数少ない遺跡のひとつです。本企画展では、唐古・鍵遺跡を中心に縄文時代から弥生時代の変化を追うことで、田原本町において稲作が定着していく過程を紹介します。

企画展に先立ち、下記のとおり説明会を行いますので、ぜひお越しください。

### 記

- 企画展名            令和7年度企画展『田原本で米作りがはじまった時代』
- 企画展詳細        別紙参照
- 説明会日時        令和7年10月16日（木）午前10時30分～
- 説明会場所        田原本青垣生涯学習センター2階 研修室2

※説明会の後、企画展会場（田原本青垣生涯学習センター2階 特別展示室）で内覧会を行います。

この件に関するお問い合わせ先：

唐古・鍵考古学ミュージアム（教育委員会事務局文化振興課）

TEL 0744-34-7100

## 唐古・鍵考古学ミュージアム 令和 7 年度 企画展 開催要項

1. 企画展名 「田原本で米作りがはじまった時代」<sup>ころ</sup>
2. 開催期間 10 月 18 日(土)～12 月 7 日(日)44 日間(部屋:10/8～12/12)  
9 時～17 時(入館は 30 分前まで) 会期中の休館日:月曜日
3. 展示会場 田原本青垣生涯学習センター2 階会議室(特別展示室)
4. 観 覧 料 一般 300 円、高校・大学生 150 円。常設展との共通券のみとする。
5. 内 容 弥生時代は、日本列島において稲作農耕を生活の一部として本格的に開始した時代とされる。特に、「弥生時代前期」と呼ばれる紀元前 5 世紀から紀元前 3 世紀頃は、それまでの狩猟・採集を基本とした生活から農耕を基本にした生活へ変化する過程で、その社会・文化要素にも変化が起こったとされる。特に、唐古・鍵遺跡は、弥生時代を通じた生活・文化の断続的な変化が記録された遺跡であり、奈良県において稲作が始まり、定着していく過程もみることができる数少ない遺跡のひとつである。本企画展では、唐古・鍵遺跡を中心に縄文時代から弥生時代の変化を追うことで、田原本町において稲作が定着していく過程を紹介する。

### 6. 展示構成

プロローグ:「弥生時代の始まり」をどのようにとらえてきたか?

「遠賀川式土器東漸形態研究」『小林行雄選集』、唐古・鍵遺跡第 1 次調査土器など

#### 第Ⅰ章:米作り開始以前(縄文時代以前)

多遺跡、矢部南遺跡、宮古北遺跡、保津・宮古遺跡、唐古・鍵遺跡など 土器・石器

#### 第Ⅱ章:田原本町で稲作がはじまったころ(弥生時代前期前半)

唐古・鍵遺跡、多遺跡、保津・宮古遺跡、宮古北遺跡出土土器、石器、木器、動物遺存体

#### エピローグ:稲作定着後の田原本

唐古・鍵遺跡弥生中期土器、その他搬入土器 など

### 【関連事業】

#### ●講演会①

- ・開催日時 令和 7 年 11 月 30 日(日)
- ・会 場 田原本青垣生涯学習センター 研修室
- ・定 員 80 人(申込不要 先着順)
- ・内容、講師  
「縄文時代研究者から見た弥生時代の始まり」岡田 憲一 氏(奈良県文化財課)  
「弥生時代研究者からみた縄文時代の終わり」川部 浩司 氏(三重県埋蔵文化財センター)
- ・そ の 他 聴講無料